

法人（事業所）理念		子どもひとりひとりを大切に受け止め尊重し、共に生きる社会の実現に努めます。					
支援方針		<p>お子様ひとりひとりに合わせたオーダーメイド支援を行っていきます          ～お子様とご家族の安心安全な生活のお手伝いが少しでもできますように～          ～お子様が「やってみよう」、「楽しい」と思う動機付けや、「わかった」「できた」の達成感を大切にしていきます～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族よりご家庭でのお子様の姿を定期的に教えていただき支援のヒントにさせていただきます。また、ご要望等は随時お聞きいたします。</li> <li>・一人一人の学びやすさをアセスメントし、それをもとに環境の調整を行い、その子にあった学びやすいスタイルで支援を行っていきます。</li> <li>・個別療育を中心に効果的に小集団活動を取り入れていきます。</li> <li>・個別療育で学んだことを家庭、所属園、地域での活動に活かしていきます。</li> <li>・保護者様の思い、ニーズを大切に、ご家族にとって安心できる事業所を目指していきます。</li> <li>・一対一による個別支援だけでなく、個々のニーズに応じた配慮がされた上で、小集団等で行われる支援を行っていきます。</li> </ul>					
営業時間		9 時	0 分	17 時	0 分	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様ひとりひとりに合わせた環境づくりにも努めていきます。取り組みやすい環境、学びやすい環境づくりを行っていきます。お子様が安全で安心と感じる環境をつくり、自立して行動できるようにすることを支援しています。</li> <li>・今何をするか、次に何をするか等、お子様に合わせた予定の知らせ方を行っていきます。また、自分で見通しを持つことができるようになる為の支援を行っていきます。</li> <li>・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援していきます。</li> <li>・お子様が、食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活の場における環境の工夫を行いながら、お子様の状態に応じて支援していきます。</li> <li>・ご家庭や併行利用している幼稚園、こども園、保育所等で必要な生活習慣等の練習を行います。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療育担当職員の評価のもと、個に必要な運動機能の向上等を個人が楽しみながらできるプログラムを作っていきます。</li> <li>・職員と1対1で学ぶ場面を通して、身体の使い方、各部位の動かし方等評価を行います。評価のもと、遊びや製作等を通して力の加減や身体の使い方等の活動を取り入れていきます。</li> <li>・手先の巧緻性を高めるために手遊びやふれあい遊び、玩具遊びや製作、お手伝い活動等個に合わせ取り入れていきます。</li> <li>・保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援していきます。</li> <li>・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行っていきます。</li> <li>・自立課題の場面において、協調性運動、微細運動等に取り組み物を操作するための技能に繋がります。</li> <li>・感覚統合理論に基づいた5感と2覚を理解し、生活の困難さを感覚の偏りの視点も合わせて支援します。</li> <li>・すべての根本である身体作りを中心から末端に沿って発達していけるよう粗大、微細に関わらず、子どもの状態に合わせて支援していきます。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の支援を軸に、1対1での学び、小集団での学びを行っていきます。</li> <li>・就学前のお子様に対しては、必要に応じて小学校の集団生活に向けて様々な不安に対応した療育へ進めていきます。</li> <li>・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援していきます。</li> <li>・お子様の特徴に合わせ、遊びを通して数、形、色、大小等の概念形成の習得を支援します。新たに「知る」ものは大人と1対1の個別課題で取り組み、知るから「定着」では、自立課題の中で行います。</li> </ul>					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご希望により言語聴覚士による言語訓練ができます。</li> <li>・お子様のコミュニケーションの特徴をアセスメントし、保護者様と情報共有を行い、有効な手立てや支援を探っていきます。</li> <li>・他者へ伝えることをお子様が伝えやすい方法で伝えられる方法を探り、実践することで、お子様が伝えてよかったと思う経験を増やしていきます。</li> <li>・人のやりとりを通してやりたいことを伝えたり、手伝ってほしい時に援助を求める等生活の中で必要なコミュニケーションや行動を身に付けられるよう支援します。</li> <li>・お子様に合わせて言葉の土台作りになるような学習や遊びの支援を取り入れていきます。</li> <li>・相手の話を聞き、それに応じて行動したり発言したり、コミュニケーションの楽しさを感じる経験ができるよう努めていきます。</li> <li>・先生の指示を理解する等、集団生活で必要となるスキルをお子様にあった学びのご提案や実践をしていきます。</li> <li>・あそびやおやつ時間等でメニュー表を活用し、選んで他者に伝える支援を行っていきます。</li> </ul>					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様が基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行っていきます。</li> <li>・遊びを通じた社会性の促進を行っていきます。</li> <li>・模倣行動の支援では、遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援していきます。</li> <li>・感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援では、感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。</li> <li>・一人遊びから協同遊びへの支援を行っていきます。周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したり、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。</li> <li>・必要に応じて自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援していきます。</li> <li>・集団に参加するための手順やルールを理解し、ご家族やお子様の希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援していきます。</li> </ul>					

家族支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・アプリを活用して活動写真提供</li><li>・定期的な活動報告</li><li>・支援見学・参加</li><li>・相談援助</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 幼児の発達に関する相談・助言等</li><li>2. 支援内容に関する相談・助言等</li><li>3. 家庭生活に関する相談・助言等</li><li>4. 集団生活に関する相談・助言等</li><li>5. さいようだい児に関する相談・助言等</li><li>6. 制度に関する相談・助言等</li></ol>	移行支援	インクルージョンに向けた取組の推進 1. 事業所で支援し、習得した行動を園や家庭などできるように、般化を目指した支援を行う 2. インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の店の協力を得て様々な体験活動を行う。地域の公園等活用し、集団活動を行う 3. 保育所や幼稚園、こども園等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、幼児の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する 4. 進学先の小学校への情報共有を行う（希望によって会議の実施をする）
地域支援・地域連携	関係機関との連携や交流 1. 相談支援事業所との支援の連携をする 2. 他事業所との支援の連携をする 3. 医療機関や市の相談機関との連携をする 4. 幼稚園や保育園等所属園との情報共有や連携、支援方法や環境調整の相談援助を行う 5. 実習やインターンシップ、ボランティア等を受け入れ等地域住民との交流を行う	職員の質の向上	新卒・中途入社研修(熊本YMCA全体新入職員研修) 1. 法人理念等の研修 2. ビジネスマナー・コミュニケーション研修 3. ボランティア入門講座（食事介助体験 車いす講習・体験等）  全職員向け研修 1. 虐待防止(身体拘束)に関する研修 2. 事故防止に関する研修 3. 感染症に関する研修 4. 防犯に関する研修 5. 災害に関する研修 6. ハラスメント防止研修  職員の質の向上のための研修 ・外部講師による研修 ・熊本県・熊本市主催研修への参加
主な行事等	季節の行事 (花見、水遊び、勤労感謝の日、ハロウィン、クリスマス、正月遊び、節分、ひな祭り、卒園式等)  その他の行事 バス遠足・地域交流行事・買い物等の社会体験・クッキング・サッカー教室 避難訓練・交通安全教室・他事業所との交流機会の提供  親子行事 親子運動遊び（2024年度実施）  保護者交流プログラム ・学習会 ・ワークショップ等		